

ケーブル端末処理工具



用途

FA (現地付外被把持) コネクタ取付時の**ケーブル端末処理**、**支持線分離**、**セミ被害対策**
ドロップケーブルの**切り裂き溝作製**と3作業を1つの工具に纏めたマルチ工具です。

特長

すべての刃は長時間ご使用頂く事を考慮し材質の選定・熱処理を施しております。

【ケーブル端末処理】

1. ファイバ心線を傷つける事なく口出しが可能です。
2. FAコネクタに使用される**ドロップケーブル**と**インドアケーブル**のどちらに用いても高品質な処理が行えるよう設計しております。

【支持線分離】

1. ケーブルガイドを設ける事でケーブルと支持線の分離品質を高めております。
2. 刃先を保護カバーで覆う事で、使用時・搬送時の安全性を高めております。

【切り裂き溝作製】

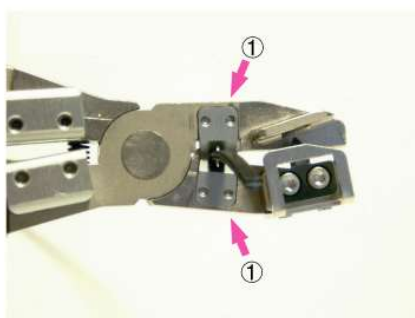
1. 高精度のガイドにより切り裂き溝を常にケーブル中央に形成できます。
2. ドロップデタッチャと合わせて使用する事で、容易にセミ被害対策ドロップケーブルの心線取出しを可能としました。

仕様

品名	寸法(mm)	重量(g)
ケーブル端末処理工具	140×90×25	250

ケーブル端末処理工具取扱説明

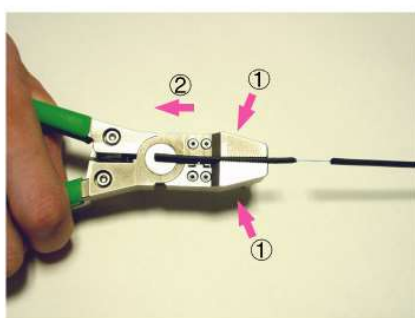
工法
1



ケーブル端末処理 Ⅰ

- ①ケーブルの口出し開始箇所をガイド部にセットする。
- ②ガイド(上凸部、下凹部)にケーブルを確実に乗せる。
- ③グリップを握り、ケーブルの口出し開始箇所に刃先を下ろす。
- ④グリップを最後まで握り、切断完了。【矢印①方向】

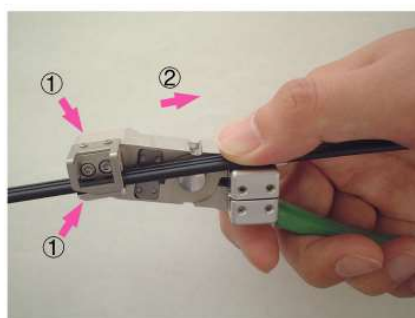
工法
1



ケーブル端末処理 Ⅱ

- ①ケーブルの口出し側を本工具で握る。【矢印①方向】
- ②グリップを握った状態で、左手でケーブルを保持し右手で本工具を手前にケーブルと平行に引く。【矢印②方向】

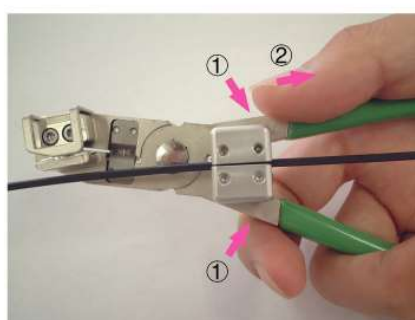
工法
2



支持線分離

- ①ケーブルの分離開始箇所をガイドにセットする。
- ②ガイド(下凸部)にケーブルの支持線部を外側に、ファイバ部を内側に乗せる。
- ③グリップを握り、ケーブルの分離開始箇所に刃先を下ろす。【矢印①方向】
- ④グリップを握った状態で、左手でケーブルを保持し右手で本工具を手前にケーブルと平行に引く。【矢印②方向】

工法
3



切り裂き溝作製

- ①切り裂き溝作製開始箇所をガイドにセットする。
- ②ガイド(下凹部)にケーブルを確実に乗せる。
- ③グリップを握り、ケーブルを固定する。【矢印①方向】
- ④グリップを握った状態で、左手でケーブルを保持し右手で本工具を手前にケーブルと平行に引く。【矢印②方向】